

◀■ しづだい産学連携メールマガジンVol. 80

2014年8月26日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。<http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>からもご覧頂けます。

★今月の「みんなのコラム」は、杉山岳弘先生です。

◆◇◆ 目次 ◆◇◆

1. 「イノベーション・ジャパン2014」に出展します
2. 「静岡大学発ベンチャー事業計画発表会」のご案内
3. 静岡大学食品・生物産業創出拠点「第36回研究会」のご案内
4. 静岡大学「第13回アントレプレナー講演会」を開催します
5. 静岡大学「GC-TOFMSによる質量分析入門講習会」のご案内

※問合先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

1. 「イノベーション・ジャパン2014」に出展します
～大学見本市＆ビジネスマッチング～

大学や公的機関等から創出された研究成果の社会還元、技術移転を促進すること及び、実用化に向けた産学連携のマッチング支援を実施することを目的としてJST、NEDOが主催する、「イノベーション・ジャパン2014」に本学から3名の研究者が出演いたします。
ご興味、ご関心のある方は是非本学の各ブースへお立ち寄りください。

日時 2014年9月11日（木）～12日（金）10:00～17:00
会場 東京ビッグサイト

静岡大学の出展内容

- 「食物や人体が対象のハンディ型非接触非破壊硬さ測定器」
出展者：大学院工学研究科 電気電子専攻 教授 犬塚 博
ブース番号：L-08
口頭発表：9月11日（木）13:15～
- 「ナノ物質複合体によるウイルス検出法の開発」
出展者：グリーン科学技術研究所 所長／教授 朴 龍洙
ブース番号：N-23
- 「マイクロバブル・ナノバブルによる新規有機合成手法の開発」
出展者：大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻 教授 間瀬 暢之
ブース番号：N-24

入場料 無料

詳細 URL：<http://www.ij2014.com/>

静岡大学の問合先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1718
E-mail [invjp11\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:invjp11[at]cjr.shizuoka.ac.jp)

2. 「静岡大学発ベンチャー事業計画発表会」のご案内

この度、静岡大学と（株）インディペンデンツは、静岡大学発ベンチャー企業支援を目的として、下記のとおり発表会を開催します。

（株）インディペンデンツ社は、全国各地で個性溢れる有望なベンチャー企業の事業計画を、証券会社・金融機関・VC・コンサルタント・弁理士・弁護士・公的支援機関といったサポート機関の担当の方にご紹介して、販路拡大や事業アライアンス、株式公開支援といったサポートを行っています。

当日は、経済産業省の安永裕幸氏をお招きしてご講演いただきます。ぜひ多くの皆さまのご参加をいただきたくお待ちしております。

日時 2014年9月19日（金）14:00～19:00
場所 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館
対象 ベンチャー支援の関係の方
主催 株式会社インディペンデンツ、国立大学法人静岡大学
協賛 株式会社AGSコンサルティング、
弁護士法人内田・鮫島法律事務所
後援 日本ベンチャー学会、日本ニュービジネス協議会連合会

プログラム

挨拶 14:00～14:10
静岡大学長 伊東 幸宏
静岡大学イノベーション社会連携推進機構 機構長 木村 雅和
第一部 14:10～15:30
基調講演「技術系ベンチャー振興の課題と方策」
経済産業省産業技術環境局大臣官房審議官 安永 裕幸氏
第二部 15:30～18:00
静岡大学発ベンチャー企業の事業計画発表
1. 株式会社ブルックマンテクノロジ
発表：管理本部長 太田 尚徳氏
事業内容：超高速度／超高感度CMOSセンサの研究開発
2. 株式会社ANSeeN（アンシーン）
発表：代表取締役 小池 昭史氏
事業内容：CdTe半導体検出器の設計開発販売
3. 株式会社Eu-BS（ユービス）
発表：代表取締役 露無 慎二氏
事業内容：白金を利用した花粉症・感染症・放射能対策品の研究開発
【コメント】
株式会社AGSコンサルティング 名古屋支社長 光行 邦博氏
弁護士法人内田・鮫島法律事務所 弁護士 和田 祐造氏
【講評・総括】
(株)インディペンデンツ 代表取締役 國本 行彦氏
交流懇親会18:00～19:00
会場 高柳記念未来技術創成館

参加費 無料（交流懇親会のみ会費3000円程度）

詳細/申込 <http://www.independents.jp/event/item000152?back=/>
静岡大学の問合先

静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1713

3. 静岡大学食品・生物産業創出拠点「第36回研究会」のご案内

日時 2014年9月26日（金）13:25～16:45
場所 アクトシティ浜松 研修交流センター 音楽工房ホール
(浜松市中区板屋町111-1 tel: 053-451-1111)

主催 静岡大学食品・生物産業創出拠点
後援 公益財団法人 静岡県産業振興財団、静岡化学工学懇話会

【講演】

- テーマ：グローバル化の中の食品・生物産業
1. 「アミノ酸産業の国際展開」13:30-14:15
協和発酵バイオ株式会社 技術開発部長 橋本信一 氏
 2. 「ベトナムの天然ゴムを素材とした製品開発とバイオマスの資源化」
14:15-15:00
長岡技術科学大学 教授 福田雅夫 氏
 3. 「SAKEから観光立国」15:10-15:55
—地方を世界に発信するコンテンツとしての日本酒—
酒サムライコーディネーター 平出淑恵 氏
 4. 「静岡酵母の展開」15:55-16:40
静岡県工業技術研究所 沼津工業技術支援センター 主任研究員 勝山聰 氏

【懇親会】

オークラアクトシティホテル浜松 45F スカイバンケット 17:00-18:30

参加費（当日、受付にて）

講演 会員・後援団体及び学生：無料 非会員：1,000円
懇親会 会員：3,000円 非会員：5,000円

申込み切 9月17日（水）

申込み・問合せ先 静岡大学食品・生物産業創出拠点事務局

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL 054-238-4361 FAX 054-238-3018

E-mail oshirao[at]ipc.shizuoka.ac.jp

4. 静岡大学「第13回アントレプレナー講演会」を開催します

日時 2014年11月13日（木） 講演会 15:00～16:50 [受付14:30～]
交流会 17:00～

会場 静岡大学浜松キャンパス 佐鳴会館
(静岡県浜松市中区城北3-5-1)

講演 「これからは光産業が時代を制する
—光とエネルギー・環境・生物・健康・医療…—」

講師 株式会社光と風の研究所
代表取締役 堀内 道夫 氏 (静岡大学工学部卒)

入場料 無料

詳細 <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

主催 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

共催 浜松工業会・静岡大学産学連携協力会

申込・問合先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1444 FAX 053-478-1711
E-mail antre[at]cjr.shizuoka.ac.jp

5. 静岡大学「GC-TOFMSによる質量分析入門講習会」のご案内

【ガスクロマトグラフ-飛行時間型質量分析計による精密質量測定】

日時 講義 2014年9月9日（火）10:20～11:45（予定）
実習 2014年9月9日（火）13:30～16:00（予定）

会場 講義 静岡大学静岡キャンパス 総合研究棟414
実習 静岡大学静岡キャンパス 総合研究棟106

内容 GC-TOFMSの基礎（質量分析の原理と簡単な使用方法）の解説
講師 静岡大学技術部 技術職員 竹本裕之

対象 質量分析法についてある程度の知識を持っている方
参加費 12,000 円（講義、実習のいずれか、又は両方に参加した場合）
定員 【講義】制限無し 【実習】10名程度
申込締切 2014年9月2日

申込/問合先 静岡大学グリーン科学技術研究所研究支援室分子構造解析部
TEL 054-238-4834
E-mail tamura.shinobu[at]ipc.shizuoka.ac.jp

《 みんなのコラム -74- 》

記：情報学研究科 情報学部情報社会学科 准教授 杉山岳弘

私は本学工学部・工学研究科で画像処理の研究をスタートしてから、博士課程では基本的な処理であるエッジ検出に関する研究で学位を取得して、情報学部情報科学科の助手として着任後も画像処理の基礎から映像処理の応用まで研究をしてきました。

大きな転機になったのは、2002年、これまで工学系だったのが、文系の情報学部情報社会学科へ異動したことです。

もともと映像コンテンツの制作に興味があったことと、地域貢献をしたいという思いもあり、自ら文工融合の理念を体現するために文系に転身（文転）しました。

同じ時期に、文部科学省の知的クラスター創成事業に映像コンテンツの制作技術で参画し、クルマの快走支援のための寄り道支援システムを開発しました。

これらの成果が元となって、関係者の皆様の協力もあり、大学発ベンチャー企業のデジタルセンセーション株式会社を複数教員で設立。私自身は6年間、教育や地域のメディア開発として映像とWeb系のコンテンツ制作に従事しました。本当に様々な経験をすることが有意義な事業でした。

また、文転してからも、コーディネーターの方の協力もあって、産学連携として画像処理技術の応用を目指した企業との共同研究を進め、実用化に向け協業してきました。

さらに、社会貢献にも積極的に力を入れ、Webおよび映像コンテンツの制作技術を活用して、浜松市博物館、浜松商工会議所、浜松市などの地域連携を幅広く進めています。

文転して12年、文系とか工学系といったこだわりは意味を成さないかもしれません、文転して文系の先生とも協業するにつれて、考え方も理解できるようになってきたので、今後は両者を繋いだ協業のできる産学連携にも取り組んでいきたいと思います。

今後とも一層のご支援、ご指導をお願いいたします。

<< 編集後記 >>

このほど、静岡大学が申請したプログラムが、「日本・アジア青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプラン)」に採択され、7/24~31までの間、インドネシアの高校生(BINUS INTERNATIONAL SCHOOL)10名と引率教員1名が来日しました。

一行は、静岡大学静岡キャンパスの教育学部や農学部、浜松キャンパスの情報学部や工学部の研究室訪問や浜松市内の企業見学など、様々なサイエンス交流を行いました。

この事業は、独立行政法人科学技術振興機構が行うもので、来日により日本の最先端の科学技術への関心を高め、日本の大学や企業が求める海外からの優秀な人材の育成に貢献することを目的としています。

本学を訪れた高校生が、この訪問を通して日本留学や静岡大学入学への関心を高めてくれればと思います。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、sangakukoho5[at]cjr.shizuoka.ac.jpまでお願いします。(↑送付の際は[at]を@に変更してください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発行者

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構
編集：原典子

発行責任者：木村雅和
〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1
TEL 053-478-1414
URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

Copyright (c) 2008-2014
Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved